

出題番号	正解	難易度
1	4	
2	4	
3	4	
4	2	
5	3	
6	3	
7	2	
8	3	
9	4	
10	3	
11	3	
12	1	
13	4	
14	2	
15	4	
16	2	
17	4	
18	2	
19	3	
20	2	
21	1	
22	4	
23	4	
24	2	
25	2	
26	2	
27	4	
28	4	
29	2	
30	2	

難易度

: 低

: 中

: 高

採点除外: -

1	関係法規 (柔道整復師法)
「医師の同意のもとに内服薬を投与する」は柔道整復師法第16条により誤り。「施術所の広告は自由に行うことができる」は柔道整復師法第24条により誤り。「守秘義務は柔道整復師免許を返納すれば解除される」は柔道整復師法第17条の2により誤り。	
[正解 4]	(第22回 国家試験 午前 10)
2	外科学概論 (ショック)
血液分布異常性ショックは従来の感染性ショックやアナフィラキシーショック、神経原性ショックを含み、末梢血管抵抗は減少する。外科 p 53 参照。	
[正解 4]	(第25回 国家試験 午前 15)
3	生理学 (循環)
血圧は心拍出量、血液の粘性および血管の長さ按比例する。生理 p 52 参照。	
[正解 4]	(第24回 国家試験 午前 6)
4	解剖学 (運動器系)
肝臓の類洞と肝細胞板との間には類洞周囲隙 (ディッセ腔) とよばれる腔所がある。	
[正解 2]	(第20回 国家試験 午前 2)
5	柔道整復理論 (各論・脱臼(頭部・体幹))
顎関節脱臼では関節包を破ることなく脱臼する (関節包は、外側靱帯とともに緩く伸長するため)。柔理 p 134 参照。	
[正解 3]	(第25回 国家試験 午前 26)
6	柔道整復理論 (各論・脱臼(上肢))
多くは前腕回内位、肘関節軽度屈曲位で来院。	
[正解 3]	(第22回 国家試験 午前 27)
7	生理学 (内分泌)
上皮小体ホルモンは骨の再吸収を促進して、血中Ca ²⁺ 濃度を高める。	
[正解 2]	(第19回 国家試験 午前 7)
8	外科学概論 (ショック)
循環血液量の減少によるショックでは、いわゆるショックの5Pとして有名な症状が当てはまる。Pallor(顔面蒼白)、Prostration(虚脱)、Perspiration(冷汗)、Pulselessness(脈拍触知不可)、Pulmonary deficiency(呼吸不全)	
[正解 3]	(第21回 国家試験 午前 15)
9	生理学 (内分泌)
アドレナリン、サイロキシン、グルカゴンには血糖値上昇作用がある。	
[正解 4]	(第18回 国家試験 午前 7)
10	リハビリテーション医学 (治療各論)
急性期リハビリテーションの目的として廃用症候群や合併症の予防がある。座位訓練は条件が揃い次第、機能肢位保持・他動的関節可動域訓練は発症当日から可能となる。	
[正解 3]	(第19回 国家試験 午前 12)

11	柔道整復理論 (各論・軟部組織損傷(上肢))
上腕二頭筋長頭腱損傷の検査としてヤーガソンテストやスピードテストがある。柔理 p 291 参照。	
[正解 3]	(第25回 国家試験 午前 30)
12	解剖学 (運動器系)
三角筋は肩関節 (上腕) の外転 (側方拳上)、屈曲 (前方拳上)、伸展 (後方拳上)、小円筋は肩関節外旋、大円筋は肩関節の内旋、内転、烏口腕筋は肩関節の屈曲、内転に働く。	
[正解 1]	(第22回 国家試験 午前 1)
13	生理学 (循環)
体循環 (大循環) は左心室を出た血液が大動脈を通り全身の毛細血管に至り、次いで静脈に移り、上下大静脈を通り右心房に戻る経路。左心室を出た動脈血の二酸化炭素分圧が40mmHgに対し、右心房に帰る静脈血の二酸化炭素分圧は46mmHgである。	
[正解 4]	(第20回 国家試験 午前 6)
14	運動学 (運動器の構造と機能)
筋の全長が一定な筋収縮には他に等尺性収縮、緊張性収縮、持続性収縮がある。	
[正解 2]	(第20回 国家試験 午前 8)
15	整形外科 (総論・末梢神経損傷)
尺骨神経麻痺の原因は刃物による切断、上腕骨顆上骨折、手関節部の骨折・脱臼・圧挫が多い。整形 p 123 参照。	
[正解 4]	(第25回 国家試験 午前 16)
16	柔道整復理論 (各論・脱臼(下肢))
S L A P 損傷は肩の関節唇損傷である。肩関節や股関節には関節唇があるが、顎や膝関節にはない。	
[正解 2]	(第20回 国家試験 午前 21)
17	柔道整復理論 (各論・脱臼(上肢))
整復が完了すると多くの場合、ただちに患肢を自由に動かせるようになる。柔理 p 276 参照。	
[正解 4]	(第24回 国家試験 午前 28)
18	関係法規 (関係法規)
柔道整復の業は医師と柔道整復師のみに許された独占的業務である。	
[正解 2]	(第23回 国家試験 午前 11)
19	外科学概論 (移植)
現在、腎、肝、心、脾、肺、小腸、心肺同時、脾腎同時移植が行われている。	
[正解 3]	(第18回 国家試験 午前 15)
20	一般臨床医学 (診察各論)
肺炎、肺化膿症、肺腫瘍、無気肺、胸水貯留、胸膜炎では胸部の打診上濁音を呈する。	
[正解 2]	(第20回 国家試験 午前 13)

- 21 柔道整復理論 (各論・軟部組織損傷(上肢))
ドロップアームテスト（サイン）は肩腱板断裂の有無の鑑別に用いられる。
[正解 1] (第22回 国家試験 午前 28)
- 22 関係法規 (柔道整復師法)
柔道整復師法第17条を見よ。
[正解 4] (第22回 国家試験 午前 11)
- 23 解剖学 (脈管系(循環器系))
門脈は脾静脈、上腸間膜静脈、下腸間膜静脈の3主根をうける。
[正解 4] (第18回 国家試験 午前 3)
- 24 柔道整復理論 (各論・骨折(頭部・体幹))
多発骨折時以外あまり転位を認めない場合が多い。
[正解 2] (第22回 国家試験 午前 24)
- 25 一般臨床医学 (診察各論)
その他の主な病的姿勢と疾患を示す。「脊柱側弯 特発性側弯、坐骨神経痛、姿勢性側弯」、「脊柱後弯 脊椎カリエス」、「脊柱前弯 強直性脊椎炎、くる病」、「エビ姿勢 胆石症、尿管結石」、「前かがみの姿勢 パーキンソン病」
[正解 2] (第19回 国家試験 午前 14)
- 26 衛生学・公衆衛生学 (消毒)
予防接種部位の消毒はアルコールによる消毒が多い。
[正解 2] (第18回 国家試験 午前 10)
- 27 解剖学 (運動器系)
顎関節は下顎骨の下顎頭と側頭骨の下顎窩との間につくられる。
[正解 4] (第18回 国家試験 午前 1)
- 28 柔道整復理論 (各論・骨折(上肢))
ベネット骨折で関節包は損傷される。遠位骨片は橈側に転位し、近位小骨片は掌側に残存する。
[正解 4] (第20回 国家試験 午前 25)
- 29 柔道整復理論 (各論・脱臼(頭部・体幹))
片側脱臼の症状として、オトガイ部が健側に偏位し、患側の耳孔前方に陥凹を触知する。
[正解 2] (第23回 国家試験 午前 24)
- 30 病理学 (炎症)
慢性炎症の浸潤細胞には好中球は少なく、リンパ球、形質細胞、単球、線維芽細胞が多い。病理p65参照。
[正解 2] (第24回 国家試験 午前 9)